長崎がんばらんば国体・大会
～感動の瞬間～

長崎県で45年ぶりとなる**「第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）」**が、10月12日～22日（水泳競技は9月7日～14日）に開催されました。また、長崎県で初めてとなる**「第14回全国障害者スポーツ大会（長崎がんばらんば大会）」**が11月1日～3日に開催されました。

出場した選手はもちろん、選手たちを熱く応援した皆さん、ボランティアとして運営を支えた皆さん、花やのぼり旗などで選手や競技関係者の方々をおもてなしした皆さん…国体・大会は多くの人の思い出に残るものになったのではないでしょうか。**45年ぶりの天皇杯（男女総合優勝）を獲得**した長崎県チーム。長崎市開催競技での感動の瞬間を振り返ります。

問い合わせ　国体推進部総務企画課　☎ 829-1280

みんなで力を尽くしてがんばった

長崎がんばらんば国体

長崎市内では、正式競技 10 競技と公開競技 1 競技で熱戦が繰り広げられました。

ライフル射撃

ビームライフル少年男子立射(30発)で優勝、ビームライフル少年男子立射(60発)で3位入賞した谷口響希選手。長崎県チームは競技別総合3位となりました。

ボウリング

【上】少年女子個人戦で準優勝した原田菜津実選手(左)と4位入賞した今井双葉選手(右)
【下】長崎県チームは競技別総合優勝を果たしました。

セーリング

【左】成年女子シーホッパー級スモールリグで優勝した原田小夜子選手
【右】成年女子セーリングスピリッツ級で4位入賞した児島瑠依選手・松下結選手

体操（競技）

つり輪を演技する鈴田佳祐選手。
ロンドン五輪金メダリストで世界選手権5連覇の内村航平選手も加わった成年男子長崎県チームは、成年女子とともに準優勝となりました。

バスケットボール

5位入賞した成年男子。激しいプレーで多くの観客を魅了しました。

ボート

【上】成年男子ダブルスカルで4位入賞した斧澤友寛選手・小野紘輝選手
【下】5位入賞した成年男子かじ付きフォア(手前が長崎県チーム)

バドミントン

5位入賞した少年女子。ネット際でシャトルを追う濵田倖乃選手

テニス

成年男子に出場した野田哲平選手

ラグビーフットボール

長崎県チームは、成年男子(左)・少年男子(右)がともに5位入賞しました。

水泳（競泳、水球、シンクロナイズドスイミング）

【左上】競泳（成年男子100㍍バタフライ）で5位入賞した前田浩史選手
【右上】水球長崎県チームは8位となり、45年ぶりに入賞しました。
【右下】シンクロナイズドスイミングで12位と健闘した上瀧星奈選手・木下さくら選手

高等学校野球（硬式）

長崎県から出場した海星高校は、1回戦で夏の甲子園ベスト8の聖光学院（福島）と対戦し、惜しくも2-3で敗れました。

※そのほかの長崎市選手団の選手の成績（市外開催競技含む）については、市ホームページをご覧ください。

デモスポ行事

広く皆さんが楽しむことができるデモンストレーションとしてのスポーツ行事(デモスポ行事)として、長崎市内では、ビリヤード、けん玉、お手玉の3行事が開催されました。

だれもが主役　輝いた3日間

長崎がんばらんば大会

長崎市内では、正式競技５競技とオープン競技２競技で選手たちが躍動しました。

水泳

【左】50㍍自由形と50㍍背泳ぎで金メダルを獲得した泉田将伍選手。鍛え上げた上半身の強さを生かし、背泳ぎでは大会記録を更新しました。
【右】50㍍バタフライと25㍍バタフライで金、200㍍メドレーリレーで銅と3つのメダルを獲得した柳迫友希選手

車椅子バスケットボール

初優勝を目指した長崎県チームでしたが、準決勝で優勝した兵庫県に敗れ、惜しくも3位となりました。

フライングディスク

円形ゴールの中にディスクを投げ入れる「アキュラシー」で、金メダルを獲得した近藤英明選手。ディスクの飛距離を競う「ディスタンス」でも銀メダルを獲得しました。

ボウリング

青年男子1組で銅メダルを獲得した谷山太一選手

バスケットボール

男女とも初出場の長崎県チーム。その健闘に会場から温かい声援が送られていました。

視覚障害者ボウリング

ガイドレール（手すり）で方向を確認しながらボールを投げる鬼島正夫選手。
競技役員からボールの軌道や残ったピンの配置などを聞きながら、ストライクやスペアを巧みにとっていました。

ふうせんバレーボール

障害のある人とない人がチームを組み、鈴を入れた風船を打ち合うふうせんバレーボール。
「バット★ストーム長崎」が準優勝に輝きました。

国体・大会をみんなで盛り上げました！！

応援

全国トップレベルのプレーを見るため、会場には多くの観客が集まりました。
選手たちが持てる力を最大限発揮できるよう、精いっぱい応援しました。

ボランティア

たくさんの市民の皆さんが、会場案内、ドリンクサービス、環境美化、手話、要約筆記などのボランティアとして参加しました。
ボランティアの皆さんの活躍により、国体・大会がスムーズに運営されました。

おもてなし

選手の皆さんを、手作り応援のぼり旗や色とりどりの花などでお出迎えしました。
また、手作りのお菓子や郷土料理のふるまい、龍踊りやペーロンなどの催しで、選手たちをおもてなししました。
全国から来られた選手や応援の方々にとって、長崎での滞在はいい思い出になったのではないでしょうか。